

2021年4月21日  
月島機械株式会社

「中津終末処理場消化ガス発電事業」を開始しました  
～民設民営方式のFIT事業～

月島機械株式会社（社長：福沢 義之）は、ヤンマーエネルギーシステム株式会社、TC月島エネルギーソリューション合同会社と構成する企業グループで、中津市（市長：奥塚 正典）と「中津終末処理場消化ガス発電事業」（以下、「本事業」）を開始しましたことをお知らせいたします。

下水汚泥処理の過程で発生する消化ガスは、メタンを主成分とする可燃性ガスであり、未利用の再生可能エネルギー源であることから地球温暖化対策の一つとして有効利用が期待されています。

本事業は、民間の資金とノウハウを活用した民設民営方式による下水処理場での消化ガス発電事業であり、当社が自己資金で発電設備を建設し、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく固定価格買取制度（以下、「FIT」）を利用し、20年間の発電事業を行うものです。

当社と中津市は、2019年5月に本事業の「基本協定」、2020年12月に「事業契約」を締結し、本年4月より事業を開始いたしました。本事業において、中津市は事業資金が不要でありかつ資産の所有も必要ありません。また、当社に建設用地および発電の燃料となる消化ガスを提供することで、その対価を得て下水道事業の新たな財源に活用します。

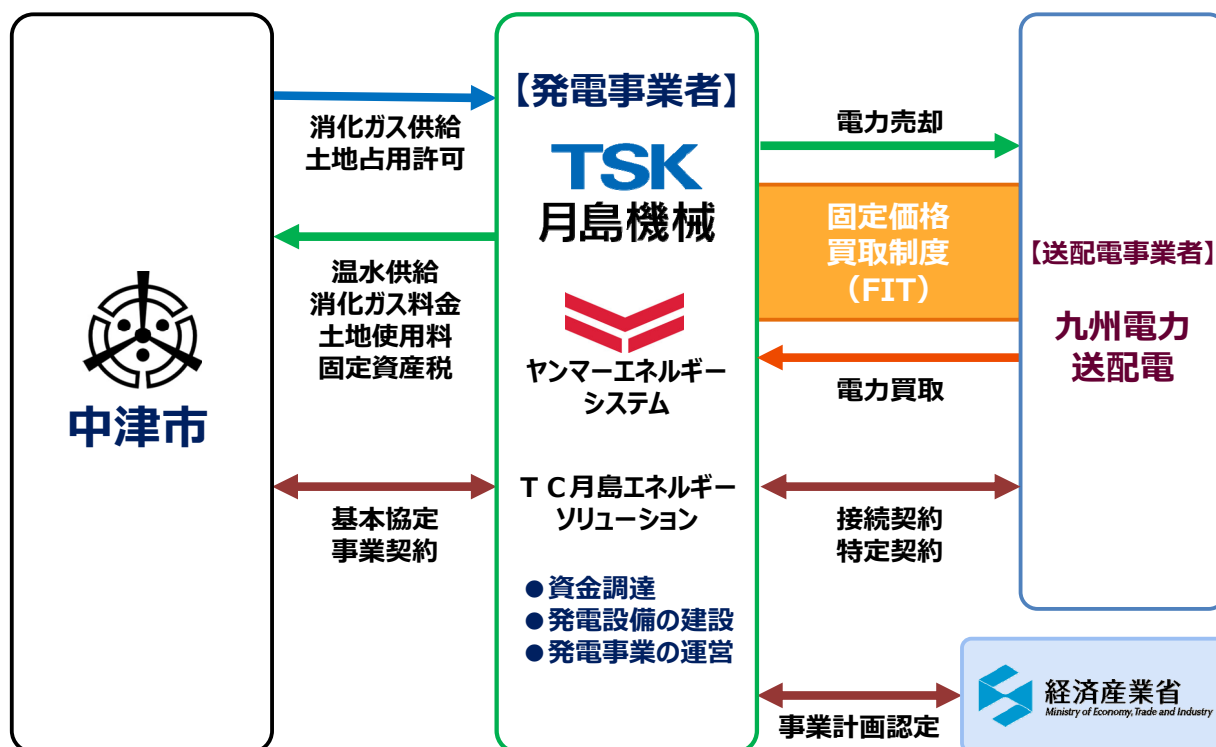
当社は、下水処理場における汚泥処理に強みを持ち、汚泥消化設備、ガス貯留設備および発電利用設備の豊富な実績を誇るとともに、上下水道におけるPFI・DBO事業をはじめとした「ライフサイクルビジネス」を積極的に展開し、長期事業運営に必要な豊富な実績とノウハウを培ってまいりました。本事業においてもそれらを最大限に活かし、効率的で安定した発電事業の運営を行うとともに、これからも地球温暖化防止に貢献する消化ガス発電事業の普及拡大に向けて、積極的に取り組んでまいります。



消化ガス発電設備

## 中津終末処理場消化ガス発電事業の概要

1. 事業名 : 中津終末処理場消化ガス発電事業
2. 事業場所 : 大分県中津市大字大塚690番地  
(中津終末処理場内)
3. 施設概要 : 消化ガス発電設備 1式  
設備容量 49kW (ガスエンジン 24.5kW×2台)
4. 年間発電量 : 約42万kWh (一般家庭 約120世帯相当)
5. 発電事業期間 : 2021年 4月 ~ 2041年 3月 (20年間) を予定
6. 事業スキーム



《本リリース に関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 経営統括本部 広報室

TEL 03-5560-6503

《消化ガス発電事業 に関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 水環境事業本部 PPP 事業推進室

TEL 03-5560-6540

以上